

(新人教育スケジュールパス)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基本的な進行	○1週目:集合研修 ○2週目:業務対応マナー受け持ち2人 ○3週目:担当患者1~2人 ○4週目:担当患者2~3人 ○1ヶ月間ベア	○1週目:休日日勤業務 ○2週目:担当患者4~6人(転院患者(指導付き)) ○3週目:日勤業務独立立ち(日勤担当患者4名) ○4週目:担当患者6~8人 ○日直業務開始 ○早出・退出業務 ※詳細別紙参照 ○予定入院の対応ができる ○早出:採血業務・患者2人担当 ○退出:予定入院の対応・入院患者の指示受け	○長日勤・夜勤業務開始(2回指導付き、3回自以離独立立ち) ○長日勤担当患者8人 ○チェックリストに沿って実地指導者と評価を行う(3ヶ月目評価) ○社会人基礎力の確認	○長日勤担当患者10人(朝の担当患者・退院患者、新規入院患者)		○チェックリストに沿って実地指導者と評価を行う(6ヶ月目評価)	○休日長日勤業務	○長日勤担当患者12人 ○シャドウウィングチェック1回目	○チェックリストに沿って実地指導者と評価を行う(9ヶ月目評価)	○シャドウウィングチェック2回目	○チェックリストに沿って実地指導者と評価を行う(1年目評価)	○一年間の振り返り、未実施ケアの最終確認、習得
部署独自の進行												
指導フォロー	○指導者:業務分担明記 ○2週目:受け持ち開始(指導) ○ベアNSシャドー的視点でフォロー	○フォローNSは、業務分担表に明記 ○夜勤の担当人数は最大5人で軽症を担当する。動線重視で無くてもよい ○夜勤担当患者10人(順次増加検討)										

I 基本的姿勢と態度	習熟職員として自覚と責任ある行動	□医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の権利を擁護する □看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する □職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	★ I ★ I ★ I
	患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	□患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する □患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する □患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る □家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する □守秘義務を厳守しプライバシーに配慮する □看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する	★ I ★ I ★ I ★ II ★ I ★ I
	組織における役割・心構えの理解と適切な行動	□病院及び看護部の理念を理解し行動する □病院及び看護部の組織と機能について理解する □チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する □同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる	★ II ★ II ★ II ★ I
生涯にわたる主体的な自己学習の継続	□自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題を見つける □課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する □学習の成果を自らの看護実践に活用する	★ I ★ II ★ II	

到達の目安について
 ★マークあり:1年以内に経験し習得を目指す項目
 ★マークなし:期限を設けなが、部署の判断で経験し習得を目指す時期を決める項目
 II:指導のもとでできる I:できる

II 水準1の技術項目	a. 環境調整技術	□ベッド周囲の療養環境整備 □基本的なベッドメイキング □基本的なリネン交換 □臥床患者のシーツ交換	★ I ★ I ★ I ★ I
	b. 食事援助技術	□食事介助、嚥下機能評価 □経管栄養の実施(鼻腔栄養・経腸栄養) □食生活支援	★ I ★ I II
	c. 排泄援助技術	□自然排尿、排便援助 □導尿 □膀胱留置カテーテルの挿入と管理 □洗腸 □換便	★ I I I I II
	d. 活動休息援助技術	□体位変換 □歩行介助、移動の介助、移送 □廃用症候群予防、関節可動域訓練 □入眠・睡眠への援助 □体動・移動に注意が必要な患者への援助	★ I ★ I II ★ II ★ II
	e. 清潔衣生活援助技術	□清拭 □洗髪 □口腔ケア □入浴介助 □部分浴・陰部ケア・おむつ交換 □寝衣交換などの衣生活支援・整容	★ I I ★ I I ★ I ★ I
	f. 呼吸循環を整える技術	□酸素吸入療法 □ネブライザーの実施 □口腔、鼻腔、気管内吸引 □体温調整 □体位ドレナージ	★ I ★ I ★ I ★ I ★ II
	g. 創傷管理技術	□創傷処置 □褥瘡予防 □包帯法	II ★ I II
	h. 与薬の技術	□経口薬・外用薬・直腸内の与薬 □皮下・皮内・筋肉注射 □静脈内注射・点滴静脈内注射 □輸液ポンプ・シリンジポンプの準備・管理 □中心静脈注射の準備・介助・管理 □輸血の準備・介助・管理 □抗菌薬・抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察 □インスリン製剤の種類、用法の理解と副作用の観察 □薬剤の管理(毒薬・麻薬・劇薬・血液製剤)	★ I I I I II II ★ II II II

*水準2の技術項目
 □気道内吸引の実施
 □呼吸理学療法
 □人工呼吸管理(水準4)

*水準2の技術項目
 □褥瘡の処置と観察

(新人教育スケジュールパス)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
II 水準1の技術項目	i. 救命救急処置技術	<input type="checkbox"/> 意識レベルの観察 <input type="checkbox"/> チームメンバーへの応援要請 <input type="checkbox"/> 気道確保			★ I ★ I ★ II									
	j. 症状・生体機能管理技術	<input type="checkbox"/> バイタルサイン（呼吸・脈拍・体温・血圧）の観察と解釈 <input type="checkbox"/> 身体計測 <input type="checkbox"/> 静脈血採血と検体の取り扱い <input type="checkbox"/> 動脈血採血の準備と検体の取り扱い <input type="checkbox"/> 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い <input type="checkbox"/> 血糖測定と検体の取り扱い <input type="checkbox"/> パルスオキシメーターによる測定 <input type="checkbox"/> 心電図モニター・12誘導心電図の装着・管理			★ I ★ I I I ★ I ★ I I									
	k. 感染予防の技術	<input type="checkbox"/> スタンダードプリコーション（標準予防策）の実施 <input type="checkbox"/> 必要な防護具の選択 <input type="checkbox"/> 無菌操作の実施 <input type="checkbox"/> 医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い <input type="checkbox"/> 針刺し、切創、粘膜暴露等による職業感染防止対策と事故後の対応 <input type="checkbox"/> 洗浄・消毒・滅菌の適切な選択			★ I ★ I ★ I ★ I ★ I ★ I								*水準2の技術項目 <input type="checkbox"/> 無菌的な気管内吸引	
	l. 安全管理の技術	<input type="checkbox"/> 誤薬防止の手順に沿った与薬 <input type="checkbox"/> 患者誤認防止策の実施 <input type="checkbox"/> 転倒転落防止策の実施 <input type="checkbox"/> 薬剤・放射線暴露防止の実施			★ I ★ I ★ I II									
	m. 安楽確保の技術	<input type="checkbox"/> 安楽な体位の保持 <input type="checkbox"/> 離法等身体安楽促進ケア <input type="checkbox"/> リラクゼーション法 <input type="checkbox"/> 精神的安楽を保つための看護ケア			★ II II II II									
	n. コミュニケーション技術	<input type="checkbox"/> 先輩看護師に自分の考えが言える <input type="checkbox"/> 対象者の話を傾聴できる <input type="checkbox"/> 電話対応ができる												
	o. その他													*水準2の技術項目
	III 管理的側面	安全管理	<input type="checkbox"/> 施設における医療安全管理体制について理解する <input type="checkbox"/> インシデント（ヒヤリ・ハット）事例や事故事例の報告を速やかに行う			★ I ★ I								
		情報管理	<input type="checkbox"/> 施設内の医療情報に関する規定を理解する <input type="checkbox"/> 患者等に対し、適切な情報提供を行う <input type="checkbox"/> プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う <input type="checkbox"/> 看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する			★ I ★ II ★ I ★ II								
		業務管理	<input type="checkbox"/> 業務の基準・手順に沿って実施する <input type="checkbox"/> 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する <input type="checkbox"/> 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う <input type="checkbox"/> 決められた業務を時間内に実施できるように調整する			★ I ★ II ★ I II								
薬剤等の管理		<input type="checkbox"/> 薬剤を適切に請求・受領・保管する <input type="checkbox"/> 血液製剤を適切に請求・受領・保管する			II II									
災害・防災管理		<input type="checkbox"/> 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時（地震・火災・水害・停電等）には決められた初期行動を円滑に実施する <input type="checkbox"/> 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する			★ II ★ I									
物品管理		<input type="checkbox"/> 規定に沿って適切に医療機器・器具を取り扱う <input type="checkbox"/> 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う			★ II ★ II									
コスト管理		<input type="checkbox"/> 患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する <input type="checkbox"/> 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する			★ II ★ II									
アウトカム	<input type="checkbox"/> 新卒看護師研修が受講できる <input type="checkbox"/> スタッフ・病棟の雰囲気になれる <input type="checkbox"/> 自動の流れが理解できる <input type="checkbox"/> 早出・採血ができる <input type="checkbox"/> 早出・2人の患者担当ができる：6月初旬までに4人担当できる <input type="checkbox"/> 逢出・予定入院の対応・入院患者の指示受けができる <input type="checkbox"/> 土日祝の流れが理解できる <input type="checkbox"/> 報告・連絡・相談ができる <input type="checkbox"/> 水準1＝6月達成の技術を習得できる <input type="checkbox"/> 支援を受けながら、複数の患者を受け持つことができる <input type="checkbox"/> 提出物が期限内に提出できる <input type="checkbox"/> 受け持ち患者に関する水準2のケアを見学・一部先輩とともに実践できる <input type="checkbox"/> OSDPでの看護記録が正しく書ける <input type="checkbox"/> 1年間の進捗がわかり今後の目標が立案できる	<input type="checkbox"/> 夜勤の流れが理解できる <input type="checkbox"/> 水準1＝11月までに達成の技術を習得できる <input type="checkbox"/> 支援を受けながら複数の患者を受け持ち、水準1＝11月までに達成のケアを1人で提供することができる <input type="checkbox"/> 受け持ち患者へ、水準2の技術を、先輩看護師とともに安全に実践することができる <input type="checkbox"/> 急変時、経時記録が正しく書ける	<input type="checkbox"/> 複数の患者を受け持ち、水準1のケアについては1人で、水準2のケアについては、先輩とともに安全に実践できる <input type="checkbox"/> 水準3のケアを見学できる <input type="checkbox"/> 年間を通して自己学習を計画的に遂行し、評価できる <input type="checkbox"/> 年間の目標管理評価ができる											